

世界が認めた教育プログラム

工学部都市環境デザイン学科 JABEE認定！



JABEE認定証

東海地区の私立大学で2番目(土木および土木関連分野)
学科全員がJABEE認定プログラム対象なのはDITだけ

都市環境デザイン学科の教育プログラムは、平成18年度に「土木および土木関連分野」の技術者教育プログラムとして、日本技術者教育認定機構の認定審査を受け、平成19年5月に認定された。それに伴って、平成18年度以降の卒業生は、全員が本プログラムの修了生となる。

■ JABEE って何？

技術の世界でもグローバル化が進み、技術者にとって国際的に通用する資格が必要な時代となってきた。

この技術者としての資質を保証するために、世界各国で実施される技術者教育に同等性が求められている。

日本では、この技術者教育を評価・認定するのが日本技術者教育認定機構 (Japan Accreditation Board for Engineering Education)。頭文字を取ってJABEE (ジャビー)と呼んでいる。

■ 「技術士」取得までの流れ

「技術士」は、医師・弁護士・弁理士・公認会計士と並ぶ五大国家資格。

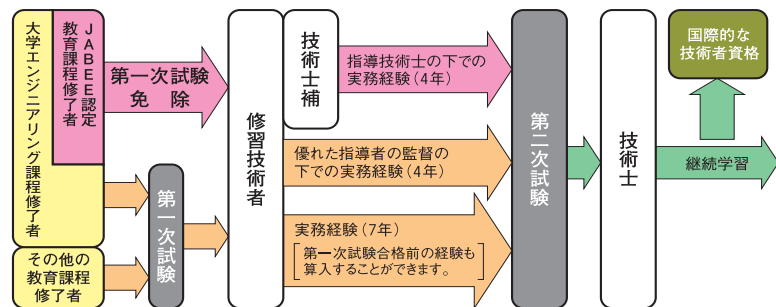
国家試験(技術士第二次試験)に合格・登録した人だけに与えられ、技術者にとって国内で最高の資格と言われている。

学术界で研究者に与えられる博士号に匹敵する称号。

そしてJABEE認定の学科・コースを卒業すると、こんなメリットがある。

- 即戦力を期待する社会で、就職などにおいて有利な評価に結びつく。
- 修習技術者として国家資格「技術士」の第一次試験が免除される。…等々

◎技術士試験に関する基本的な仕組



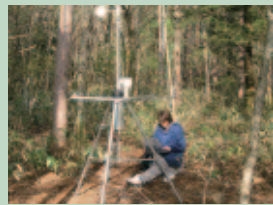
注) 技術士補となる資格の特例

「認定された教育課程の修了者」とは、「大学その他の教育機関における課程であって科学技術に関するもののうち、その修了者が第一次試験と同等であるものとして文部科学大臣が指定したものを修了した者」を指す(平成16年4月1日以降)。

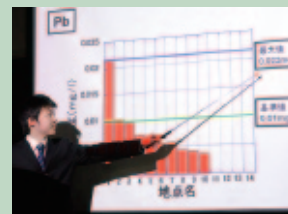
■ 都市環境デザイン学科の教育プログラム



水文調査



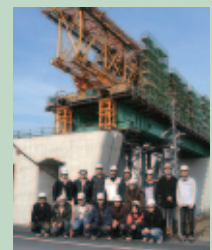
親水空間デザイン



卒業研究発表会



環境質実験



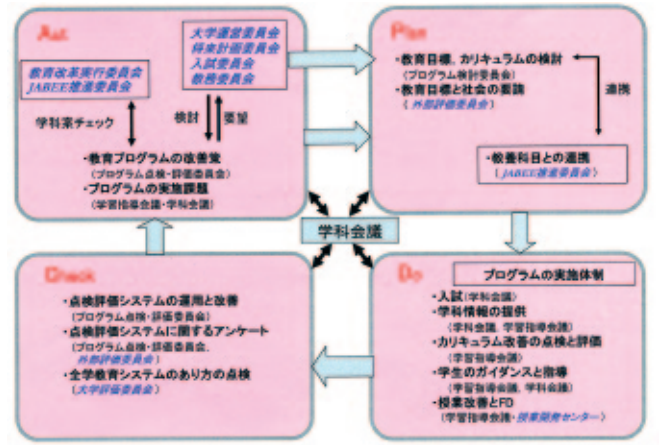
国交省見学会



JABEE受審報告会

6月26日(火)、A棟14階交流室で「JABEE受審報告会」を開催した。
 JABEE認定審査を受審するまでの経緯と、認定された教育プログラムの内容等について、プログラム責任者の大東憲二教授(工学部都市環境デザイン学科)より報告。学内および他大学の教職員40人が集まった。

教育プログラムを推進するPDCAサイクル



JABEEのメリット

JABEE認定を受けた学科やコースは、技術者を養成するため世界的レベルで“良い教育”を行っているといえる。

現在、アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリアなど10カ国が、技術者教育プログラム認定の相互認定協定として加盟。

日本国内では2006年度までに、144の教育機関、346の技術者教育プログラムが認定されている。

活躍できるフィールド

幅広い技術分野の第一線で活躍する技術士。

特に技術士の有資格者が活躍している分野として、土木建設・上下水道業界があり技術部門^{※1}全体の60%を占めている。

土木建築業界で技術士資格を取得するモチベーションが高いのは、公共事業の入札で技術士を業務管理者、監督者にすることが要請されており、この分野では事実上の業務独占資格^{※2}となっているからだ。またさらには官公庁の土木建設系の技官、都道府県庁に所属する技師らが比較的多く資格を取得する

(建設部門では毎年資格取得者割合は官と民が半々)ためである。

※1

[技術部門]

機械、船舶・海洋、航空・宇宙、電気電子、化学、繊維、金属、資源工学、建設、上下水道、衛生工学、環境、農業、森林、水産、経営工学、情報工学、応用理学、生物工学、原子力・放射線、総合技術監理

※2

業務独占資格：有資格者しか行うことができない業務が法律で規程されている国家資格のこと。



橋梁デザイン



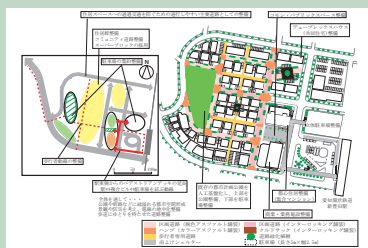
空間情報処理



土質実験



構造力学



まちづくり工学



測量実習



堀川へドロ調査

やっぱり楽しい、DITの宴祭!

栄の街をジャックする、美流輝移(ミルキィー)仮装行列(5/20)から、今年も宴祭(大学祭)がスタート。
前夜祭(5/24)、本祭(5/26・27)そして後夜祭(5/27)へと展開。
第42回となった今回のテーマは「空 ～Catch the Rainbow～」。
大学祭実行委員会のメンバーは、晴れ・曇り・雨…とたくさんの表情を持つ空のように、
バラエティー豊かな宴祭の演出を通して、
虹と例えた「参加者の心」を掴みたいという願いをこのテーマに込めた。
この意気込みが実現したことは、様々なシーンの「笑顔」が証明していた。





大学祭実行委員会 委員長 伊藤 裕樹(05B)

私は大学祭実行委員会を3年間続けてきました。私にとっては今までの大学生活で一番力をいれてきた活動です。大学は講義を受けるだけ、ただの高校生活の延長線上に思っていた私は間違っていたようです。委員会で学んだことはとても大きいです。例えば、縦の繋がり。私の生まれた年ぐらいに委員会で活躍されていた大先輩ともいまだに繋がりがあり、大変勉強になります。また、大学祭への協力をお願いするため、たくさんの企業へ挨拶に行ったり、企画書を作って熱い議論し続けたりなど、宴祭を表舞台とするならば、裏舞台の正直言って辛いことが多かったのですが、3年間続けてきました。やっぱりやりがいがあり、楽しくて、嬉しいのです。

私たち大学祭実行委員会しか経験することができない、充実感がここにはあります。



工学部 ロボティクス学科 「産業用ロボットの教示等に係わる特別教育」の修了資格を 学科全学生が取得できるカリキュラムに

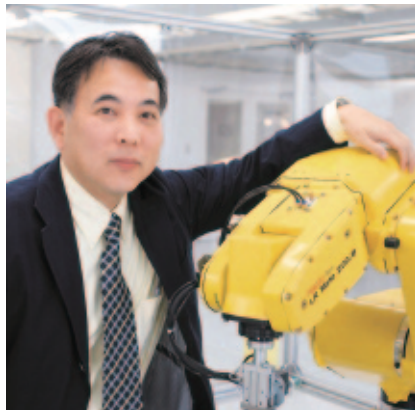
西堀賢司教授と溝口正信教授は3月12日から4日間、東京の中央労働災害防止協会が開かれた「特殊インストラクター講座 産業用ロボット特別教育インストラクターコース」を受講し、インストラクターの資格を得た。その結果、ロボティクス学科を卒業する学生全員が「産業用ロボットの教示等に係わる特別教育」修了の資格を取得することができるようになった。

産業用ロボットについては、その教示(プロ



西堀賢司教授

グラミング・操作)等および検査等に従事する者に対して、各企業が特別教育を行うことが法令で義務づけられている。ロボット操作を必要とする企業に就職を希望するロボティクス学科生はまさに特別教育の対象者だ。本来就職後に各企業で特別教育を受け「安全第一」精神を植え付けられるところを、在学中、講義でしっかりそれを意識づけられるロボティクス学科生のメリットは大きいに違いない。

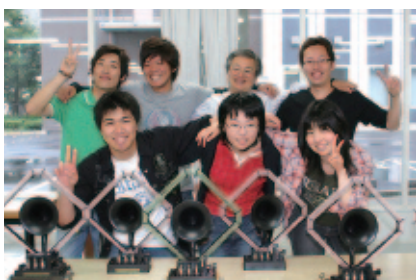


溝口正信教授

工学部 電気電子工学科 電気・電子に親しみ、そして遊ぶ場。 電気工房講座

電気・電子回路の勉強を座学だけで学生に深い理解度を求めることは至難の業だ。そこで、いつでも電気・電子に触れることができる場所、部品、工具を用意し、学生が“電気・電子に親しみ遊ぶ場”として、「電気工房」を提供している。

5月19日(土)「手作りパソコン講座」、6月6日(木)「真空管ラジオ製作講座」はその電気工房で“実物教育”第2弾として開講された。



真空管ラジオ製作講座

工学部 建築学科 ミラノ工科大学 建築学部と 提案体験型授業(ロラーニング)を実施する



ミラノ工科大学のキャンパス

DITはイタリアのミラノ工科大学と教育・研究において学術提携する。ミラノ工科大学は、学生数およそ4万人の国立大学で、工学部・建築学部・工業デザイン学部からなる、イタリ

工学的知見を育てる 学外授業

5月9日(水)、ロボティクス学科の新入生および教員あわせておよそ90人が阿久比駅から大型バス2台に乗り込んだ。目的地は株式会社デンソー阿久比製作所。これは、製造現場に向き、実際の空気に触れることで、新入生の工学に対するモチベーションと可能性を引き出すことを目的として実施しているロボティクス学科恒例の「新入生企業見学会」だ。デンソーは自動車分野で有名だが、産業用ロボットのメーカーとしてもユーザーとしても世界最大級の企業であり、ものづくりの最先端の様子を知る絶好のチャンス。



はじめに、会議室でスライドとビデオを見ながら「デンソーロボットの歴史・特徴・進化」等について50分間説明を受けた後、製造ラインへ向かう。部品の受け入れ、組み付け、動作確認など一連の工程を50分間かけてつぶさに見学。小型ロボットの動きを食い入るようにのぞき込んでいる姿、次から次へと出る質問の多さ、また帰路のバス内の明るい雰囲気は、ロボティクス学科新入生のこれからのDIT生活を確かに刺激した授業となったことを証明していた。

ア最大の工科大学である。デザイン関連を中心に国際交流を進め、教育や研究のレベル向上を目指す。今回で海外の大学との提携は8校目だ。

提携ではまず両大学の建築学科が、古い建物を従来とは別の機能を持つ建物に改装したり、建て直したりするアイデアを考え、デザイン設計や模型制作を行う。今年度はミラノの建物を、来年度は名古屋の建物を対象に考案し、建築所有者などに学生が直接プレゼンテーション提案する計画だ。

その後は2008年4月新設の情報学部 情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻等、建築学科以外でも交流を図る予定。



情報学部 情報学科 メディアデザイン専攻 川戸研究室の名物突撃授業 マスコミ業界見学会

「放送の現場を見てみたい!」という学生の要望から、5月15日(火)、川戸和英教授に引き連れられて川戸研究室の卒研生(10名)がNHK名古屋放送局を見学した。

NHK名古屋放送局の特別の計らいで、スペシャル見学コースを設定して頂き、第1スタジオやニュースセンタースタジオとそれぞれの副調整室、データ放送制作室等を、技術部の職員や編成計画のディレクター等、専門の担当者に説明を受けた。

日頃テレビで観ているスタジオで、テレビカメラの操作や、ニュースキャスターに扮しての原稿読み、副調整室でカメラの切り替え等を体験した。



NHK名古屋放送局



中日新聞社名古屋本社



東海ラジオ放送局

また、「ふれあいミーティング」では、局側から制作、技術、編成計画、広報、営業推進のスタッフを揃えて頂き、学生10名と川戸教授からの質問にも一つひとつ丁寧に回答して頂いた。

「中学生日記」制作の舞台裏を紹介頂く等、メディアを専攻する学生達にとっては貴重な体験となった事は間違いない。

学生からは「研究テーマにしていたので、実際の放送局を見て感動した」「ニュースの送出スタジオに触れてますます興味が沸いた」等の感想が述べられていた。

また、6月5日(火)は中日新聞社名古屋本社、7月3日(火)は東海ラジオ放送局を見学した。

情報学部 情報学科 コンピュータサイエンス専攻 横山研究室 NHKに卒研テーマの「色」について指摘



4月24日(火)、A棟2階第1会議室で、NHKが視聴者の声を聞き、放送・事業に生かすことを目的としている「ふれあいミーティング」が開かれた。参加者は、横山弥生准教授の卒業研究学生11人とNHKの技術・編成等を担当する技術者5人。

卒研テーマのひとつが「色」である横山研究室、HP等の配色デザインについて指摘。

【横山研究室】日本は20人に1人の割合で色覚異常者がいる。色が氾濫している最近のHPは「カラーユニバーサルデザイン」について配慮されていないものが多いが、NHKはどうか。

【NHK担当者】現在、データ放送「緊急専用コンテンツ」を制作しているが、緊急性をアピールするため非常に派手な色デザインになっている。しかし色覚異常者に届く色なのかは配慮していないかもしれない。早速、本日の意見をもち帰り再検討したい。

…等、互いに有意義なディスカッションができた。

工学部 都市環境デザイン学科 環境デーなごや2007 市民・事業者エコキャンペーン 都市環境講座

DITは環境への取り組みの一環として、環境デーなごやに毎年参加している。

環境デーなごやとは、環境問題をともに考え、理解や関心を深め、市民・事業者・行政の協働のもと、よりよい環境づくりに向けて具体的な行動を実践する契機とする行事だ。

今年は、周辺地域の美化活動(クリーンキャンペーン)に加え「都市環境講座」と題し、5月27日(日)に実施した。

都市環境デザイン学科の環境教育と研究の紹介(パネル展示等)



DITサロン

軽食をとりながら、DIT教員の講演を聴き、意見交換をする企画。

今回は、名古屋市の「なごや水の環 復活活



進会議」の座長であり、地下水管理に詳しい都市環境デザイン学科 大東憲二教授が、「なごや水の環 復活プランが目指すもの」と題して講演した。

リサイクルフラワーボトル工房

ペットボトルをリサイクルしてフラワーボトルを作る企画。

DIT学生が、丁寧にお手伝い。作成したフラワーボトルを持ち帰っていただくこの工房、50人分用意したフラワーボトルが終わってみると残り3人分となっていた。



■ 宇野 享 准教授

(工学部 建築学科)

2007年日本建築学会
作品選奨受賞

日本建築学会は3月20日、2007年日本建築学会作品選奨の作品を発表した。その作品選奨作品のうち特に優れた作品として、宇野准教授がデザインした「ぐんま国際アカデミー」が選ばれた。

ぐんま国際アカデミーは全ての授業を英語で行うという小・中・高一貫教育の学校だ。

■ 棚橋秀行 准教授

(工学部 都市環境デザイン学科)

なごや環境大学
公開講座

5月31日(木)、南生涯学習センターで公開講座の講師を棚橋准教授が務めた。

「油で汚染された土をキレイにするには?～建物の中の汚染油を除去するユニークな技術について～」と題し、様々な実験機材を用いて講座を展開。棚橋研究室の学生も協力参加し、少人数ならではのフレンドリー講座を実現した。



■ 藤本 博 准教授

(情報学部 情報学科 コンピュータサイエンス専攻)

世界的権威のある紳士録
『Who's Who in the World®』の掲載候補者へ選出

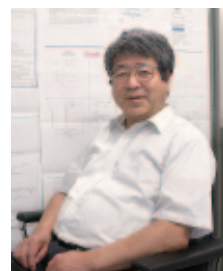
25th Silver Anniversary Edition of Who's Who in the World への掲載候補者に藤本准教授が推薦された。

MARQUIS「Who's Who in the World」は、ジネスリーダー、ジャーナリスト、学会等専門的な分野の人たちの情報を伝えるもの。Marquis Who's Whoは米国の出版社による著名人の略歴を掲載した年鑑版紳士録である。

創刊は1899年発行のWho's Who in America®であり、この初版には8,602人の著名なアメリカ人の略歴が掲載された。その後、Marquis Who's Whoは種類を増やしな

がら100年以上にわたって毎年刊行され続けており、世界各国の主要図書館や企業等に所蔵される紳士録となっている。

掲載候補者は調査員によって各専門分野ごとの具体的な選択基準〔著名組織を代表する地位、インパクトファクター等に代表される学識経験、著名な創作活動(執筆活動、音楽活動、テレビ、映画等)、著名な出版や講演活動、地域貢献〕



に基づいて選出され、経歴情報については掲載候補者本人の確認作業を経て掲載されるため、信頼性は高い。Who's Who in the World®はシリーズの中で最も選択基準が高く、権威ある紳士録とされており、215カ国の約5万人の人物情報が収録されている。

DEAR H. FUJIMOTO:

It is my pleasure to inform you that you are being considered for inclusion in the upcoming 25th Silver Anniversary Edition of Who's Who in the World®, which is scheduled for publication in November 2007.

Distributed globally, Marquis' Who's Who in the World is relied upon by business leaders, journalists, academics, and other professionals for its accuracy and currency of information. Additionally, it is found in the collections of many of the world's leading libraries and corporations.



■ 横山弥生 准教授

(情報学部 情報学科 コンピュータサイエンス専攻)

尾張旭市高齢者教室長寿学園講座

6月8日(金)、尾張旭市中央公民館で高齢者教室「長寿学園」講座が開催された。講師は横山准教授。昨年11月14日、本学内で開催した「一日大学生」で20人の長寿学園生に「PC画像おもしろ発見講座」と題して、CGデザインの世界を紹介した際、大変好評を得、今回のオファーに至った。



56人参加した今講座「生活の中の色、いろいろ講座」は会話形式で展開。「私に似合う色は…?」という質問が出る等、講師と学園生の垣根をとっばらった、にぎやかな90分間となった。



トコトン先生
大活躍!

■ 笠嶋 泰 教授

(工学部 建築学科)

甚目寺町婦人会
生涯学習講座

6月26日(火)、甚目寺町の中央公民館で婦人会が主催する生涯学習講座が開かれた。講師依頼を受けたのは笠嶋教授。暮らしの小事典「近所づきあいの空間学」と題して、90分間の講座を担当した。

前半は、様々な数値データを用いて、建物空間と犯罪発生には関係性があることをわかり易く説明し、犯罪から守る方法のひとつとして「近所づきあい」を提案した。また後半は、近所づきあいがしやすい空間構成等、演習を交えて講座を展開。参加者はリアルで身近な内容に深くうなずいていた。



■ 堀 美知郎 教授

(工学部 機械工学科 先端機械工学専攻)

愛知県下すべての県立工業高校に出前授業
「DIT燃料電池の製作実習」

愛知県は新エネルギー産業分野の担い手となる人材育成の一環として、6月から県立工業高校の生徒を対象に、クリーンエネルギーの中核になるとされる燃料電池の製作実習の出前授業をスタートさせた。またこれに伴い、県内の工業高校の教員・実習助手に対する研修会も併せて行った。

これは県の初の試みで、すべての出前授業および研修会の講師は燃料電池研究開発の権威である堀教授だ。

出前授業は、6月1日より15校すべての県立工業高校で12月までに順次行う。受講するのは各校3クラス、およそ1800人を予定。

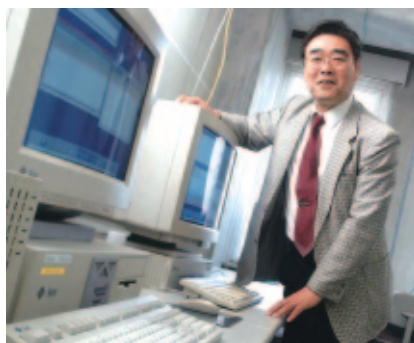
■ 田中秀和 教授

(情報学部 情報学科 コンピュータサイエンス専攻)

名古屋工業大学技術倫理研究会
第9回 公開講演会

5月30日(水)、名古屋工業大学で名古屋工学倫理研究会(NEEF)と名工大技術倫理研究会が主催する「名古屋工業大学技術倫理研究会 第9回公開講演会」が開かれた。講師は田中教授。「ソフトウェアエンジニアとコンピュータエシックス」と題し、「ソフトウェアエンジニア」は「エンジニア」として位置づけられるかどうかについて、実験をもとに考察した。

当日は名工大の大学院生およそ80人、教員2人、一般参加者5人の参加があった。その中にいた本学部卒業生小林周平さん(03B)、講演会終了後、きっちり田中教授のもとへ挨拶に来ていた。



■ 小野宗憲 教授

(工学部 ロボティクス学科)

51人目の「フェロー」

小野教授は40年間、日本塑性加工学会の発展に貢献してきた功績が認められ、会員およそ4,000人の中で51番目に「フェロー」の称号を受けた。

「フェロー」は塑性加工学・塑性加工技術の分野で特に顕著な成果を挙げるか、または学会の発展に顕著な貢献をなし、現在も活動中の会員から選出されるもの。「名誉会員」の次に位置付けられる称号だ。

「卒研生たちがお祝いのパーティーを開いてくれるみたいで…」と小野教授、嬉しそうに話してくれた。



■ 澤岡 昭 学長

介護ロボットの開発提案

ロボット産業育成に向けた東海3県の産官学の連携組織「東海ものづくり創生協議会ロボット技術クラスター」が6月14日(木)発足し、記念セミナーが開かれた。企業や大学、自治体関係者等およそ270人が参加、研究テーマのひとつとして、協議会の副会長を務める澤岡学長が、高齢者介護等で利用が予想される排せつ処理ロボットの開発について提案した。

その内容は翌日の中日新聞・日刊工業新聞に掲載された。



ロボット研究部

大会やイベントで大活躍!!

■健闘!

「第11回ROBO-ONE全国大会」

3月24日(土)・25日(日)、東京都後楽園で開催されたROBO-ONE全国大会に「RL03-Indra (インドラ)」と「鉄丸 (くわまる)」の2台のロボットで出場した。

今回は過去最多の186台のロボットがエントリーし、規定審査を通過した99台の中で青木康宏さん



(MM06)の「RL03-Indra」は縄跳びを成功させ、予選を10位で通過、決勝トーナメントで1回戦を勝ち進み、ベスト16になった。2回戦では惜しくも昨年の優勝ロボットに敗れたが、「オートデスク賞」と「ソクモセンサー賞」を受賞した。



ロボ研 2足歩行ロボットチーム

■将来のエンジニアを育成

「2007 発明の日 わくわくフェア」

子供たちにもものづくりの楽しさを知ってもらおうと、特許庁・中部経済産業局主催の「2007 発明の日 わくわくフェア」が開催された。

4月22日(日)、名古屋市西区の産業技術記念館を訪れたおよそ5000人の親子連れが様々なものづくりに挑戦。そのイベントに協力参加したのが、DIT「ロボット研究部」。モータによって動く恐竜の製作「工作教室～歩く恐

竜を作ろう!～」の司会およびお手伝いのお兄さんを10人の部員で担当した。3回(1回:2時間)開講したこの教室には、およそ400人が集まり、大盛況!

工作時間の合間を利用して、日ごろ製作活動に取り組んでいる「リモコン花火」「二足歩行ロボット」「サッカーロボット」「空中ブランコロボット」のプレゼンテーションを行い、たくさんの参加者を惹きつけた。

ロボット研究部がモットーとしている「遊びながら楽しくものづくりに取り組み、そして学ぶ。」というスタイルは、将来のエンジニアたちへ確実に伝わり、さらには彼らの無限の可能性を刺激したに違いない。



司会を務めた近藤弘憲さん(MM07)



稲垣大雄さん(MM07)

宮本康平君(R06)



■悔しいです。

「第8回ロボカップジャパン2007」

5月3日(木)～5日(土)の連休中に大阪で開



催された第8回ロボカップジャパン2007の中型リーグに参加。DIT-RCは新型ロボット1台+旧型ロボット4台で出場したが、残念ながら1勝もできず3年前に逆戻りという悔しい結果となった。今大会で明らかになった問題点を改善し、再チャレンジだ。

■ロボットバトル in ロボットミュージアム

6月10日(日)、栄にあるロボットミュージアム in 名古屋でロボットバトルを開催した。

このイベントはロボットミュージアムが6月10日を「ロボットの日」として、ロボット研究部に開催を依頼。8月4日(土)に開催予定の「ロボットバトル in 大同工業大学」のPRを兼ねて、DITロボット研究部が企画し、審判員も務めた。大阪からの参加者も含めて合計12台の2足歩行ロボットが集まり、トーナメントを実施。

ロボット研究部からは4台のロボットが参加し、青木康宏さん(MM06)の「RL03-Indra (インドラ)」は優勝決定戦で惜しくもマジंगाアに破れ準優勝、松山祥紀君(R06)の「キヌゴシ」は1回戦突破の健闘をみせた。

「ロボットバトル in 大同工業大学」は8月4日(土)午後1時からDITゴビーホールで開催される。



右:「キヌゴシ」を操縦している松山君

自動車部

全中部学生ジムカーナ選手権大会で優勝!

先輩の歴史的快挙を忘れさせない…

5月27日(日)、岐阜県のダイナランドスキー場特設会場で全中部学生ジムカーナ選手権大会が開催された。この大会は「自動車部、1年分の努力はこの日のために……」といえるレベルのものだ。

ジムカーナは3人のドライバーが各2回走行し、短い走行タイムの合計を大学のタイムとする。

DITは日頃磨いたドライビングテクニックとチームワークを余すことなく発揮した結果、3人のドライバーが2・3・4位の個人タイムを残し、ぶっちぎりの団体優勝(3年ぶり)。8月25日・26日に鈴鹿サーキットで開催される全日本学生ジムカーナ選手権大会の出場権を勝ち取った。



実は自動車部、平成11年に全国大会で優勝している。その先輩達の歴史的快挙を忘れさせないためにも、現部員21人全員が8年ぶり2度目の全国制覇に燃えている。



ハンドボール部 東海学生ハンドボール選手権大会 優勝!

6月17日(日)・24日(日)の両日にわたり、東海学生ハンドボール選手権大会が開催され、DITは2チームがエントリー。大同工大Bは惜しくも2回戦で敗退したが、大同工大Aは順調にトーナメントを勝ち上がり、決勝で中京大Aに勝利、見事優勝!

8月に開催されるインカレ予選、西日本学生ハンドボール選手権大会に弾みをつけた。

この結果は翌日の読売新聞に大きく掲載された。

- 1回戦 大同工大A 25-11 愛知学泉A
- 2回戦 大同工大A 32-13 岐阜聖徳A
- 準々決勝 大同工大A 23-17 中京大B
- 準決勝 大同工大A 25-20 中部大A
- 決勝 大同工大A 20-19 中京大A

モーターサイクルスポーツクラブ 第25回 DITライディングスクール 改めて安全運転の重要さを実感した…

モーターサイクルスポーツクラブ主催の「ライディングスクール」が5月27日(日)、緑ヶ丘自動車学校で開かれた。このスクールは、正しい運転マナーや技術を身につけ、安全運転の向上を図るために企画され、また大学祭の一環として学生と参加者が交流を深めるための毎年恒例イベントだ。



当日は天候に恵まれ、部員、OB、顧問の坂倉守昭准教授(工学部ロボティクス学科)ら合わせておよそ60人が参加。また、南警察署の交通課職員と第一交通機動隊も出席し、二輪車の正しい運転マナーや技術を指導した。

スクール終了後、参加者は「機動隊の方々に指導してもらい、改めて安全運転の重要さを実感した」などと語っていた。

この模様は、南区全域と港区の東築地学区に41,000部発行される「南ホームニュース」に掲載された。

学生会執行委員会 第35回 献血キャンペーン

4月4日(水)、石井記念体育館前で学生会執行委員会主催の「献血キャンペーン」が開かれた。「社会貢献」を合い言葉に今回で35回目の実施となった。この活動は以前、愛知県知事より感謝状を受けている。



大同工大A 優勝

女子 名文理大4年ぶり



大同工大Aは、6月24日(日)に開催された東海学生ハンドボール選手権大会決勝で、中京大Aを20対19で破り、優勝した。この勝利は、1981年(昭和56年)以来、41年ぶりとなる。大会は、6月17日(日)から24日(日)まで、緑ヶ丘自動車学校で開催された。大同工大Aは、1回戦で愛知学泉Aを25対11で破り、2回戦で岐阜聖徳Aを32対13で破り、準々決勝で中京大Bを23対17で破り、準決勝で中部大Aを25対20で破り、決勝で中京大Aを20対19で破り、優勝した。

インカレに弾み

6/25 読売新聞

吹奏楽団 大同特殊鋼星崎工場で 地域の子どもたちに 演奏披露

6月3日(日)、大同特殊鋼星崎工場の主催する「『くすのき』子ども作品コンクール表彰式」で、DIT吹奏楽団が演奏を披露した。

曲目は、「魔女の宅急便メドレー」他、子供たちに親しまれている曲を選曲した。

子供たちと、その保護者の方々、大同特殊鋼のスタッフの皆さんから大きな拍手を貰って演奏を終了した。



30数年の歴史

ダンス研究会

顧問／三品善昭教授
(情報学部 情報学科 情報ネットワーク専攻)

DITには、体育系のクラブとしてダンス研究会があります。社交ダンスの競技ダンスをしています。全国学生競技ダンス連盟、中部学生競技ダンス連盟の一員として、年に10回近い大会に出場し、この頃では、セミファイナルに入ることもあります。



ヨーロッパやラテンアメリカで 森田貴久君(05B)吉田有希さん(05B)ペア

発達したワルツ、タンゴをはじめ8種目があります。

同会は30数年の歴史があり、先輩は約100名です。球技等では中学、高校で経験した学生と混じって大会に出ますが、ここではほとんどが大学から始めるので初心者も安心です。

大会では専門の先生に審査をお願いし、時として、4年生を出し抜いて3年生が優勝することもあります。ふたりで組むということ、人生の縮図を見ているようでもあります。



第8回 金属工房

はじめての鍛金 純銀製のオリジナル装身具をつくろう!

ものづくりで、ピカピカ笑顔に。

5月19日(土)・26日(土)の2日間、DIT創造製作センターで金属工房を開催した。

毎年人気のこの講座、今年度も工房カオス主宰の鬼頭正信講師を招き、創造製作センター長 青山正治教授をはじめ、技術職員の方々が協力のもと、定員を超える23人で実施した。

長さ3cm程の銀のかたまりが、「たたき、加熱し、磨く」ことで少しずつ指輪やプレスレットなどの形に変化!およそ4時間たたき続けた腕は予想通りの筋肉痛……

だが、出来上がったピカピカ輝くアクセサリーは、そんな疲れも吹き飛ばし、参加者の顔もピカピカ笑顔にしてくれた。



完成したアクセサリー



鬼頭正信講師



青山正治教授



指輪を制作するご夫婦



6月2日(土)、DIT石井記念体育館で「こどもも「おとな」も楽しんで参加できる「すくすくこども健康教室」を開催した。10回目を迎えた今回は「生活習慣をもう一度見直そう!」をテーマに盛り沢山のメニューを展開。初参加の親子はもちろん、どんどん増え続けているリピーターの期待にもしっかり応えた教室となった。

健康相談コーナー

相談テーマ「栄養・食事」「発育(身長・体重)」
医師・管理栄養士が個別で対応。



第10回 すくすくこども健康教室

共催:大同工業大学・大同病院・カゴメ(株)・ファイザー(株)

展示ブース

「栄養・食事」:野菜メニューの提案や
野菜ジュースの試飲

「発育・成長」:資料展示



お母さんたちの勉強

「ケガ」をしにくい体づくり

／大同病院 理学療法士 鈴木真木子先生

「こどもの成長と生活習慣病」

／大同病院 小児科部長 水野美穂子先生



こどもたちの運動

大学生のお兄さんたち (DITハンドボール部)と一緒に楽しく体を動かそう!

運動の前後で体重と心拍数を測定し、体の変化を調べる。

／大同工業大学 保健体育教室 水野義雄教授



ラストは親子でダンス!



就職Topics

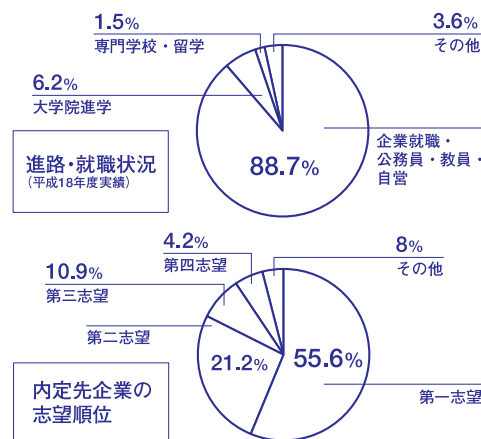
キャリアセンター
就職率100%維持のために 精力的な取り組みを!

平成18年度 就職状況総括

学部・大学院ともに 就職を希望する学生100%就職決定

経済情勢の反映、特に東海地区における自動車産業の好景気による求人数・求人数ともに大幅に増加した平成18年度の就職戦線でも、企業の採用基準レベルは緩和されることなく、厳しい状況でありました。

就職内定の時期は平成17年度にもまして早期化傾向にあり、近年過去3年間の内定状況でも7月時点で50%を超し、夏休みを終了する時には約80%強の学生が進路を決定していた。



平成19年度 就職活動状況



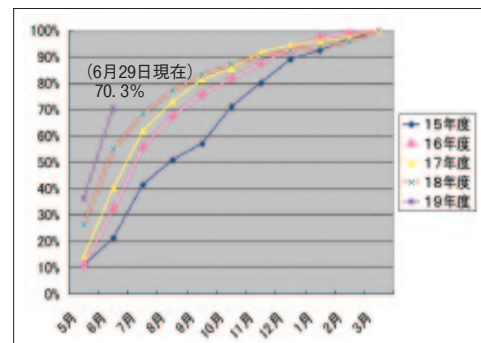
新4年生の「実戦!就活スタート」である学内企業説明会が、2月19日(月)の学内開催(5日間)と岐阜・浜松・四日市・豊田の計5会場9日間で約400社の企業が参加して行われました。延べ2,800人の学生が事前に準備された参加企業情報冊子を片手に企業ブースを訪ね、熱心に採用担当者の説明を受けている様子を見て、厳しい荒波に勇気を持って一歩踏み出した学生達の力強さを感じました。

《内定状況》

平成18年度よりも更に1ヶ月ほど早く、ゴールデンウィークまでの内定者が10%以上も上回る状況となり好調なスタートを切ったと思われます。求人数も6月現在では前年の約1.6倍に増加し、工学部・情報学部ともに市場の好景気を反映している状況です。また、内定先の状況を見ても大手企業が目立っている。

例年、学生の就職内定率は100%を記録し続けています。キャリアセンターで就職を斡旋した学生に関しては、毎年100%の就職内定率を記録。また、就職内定者のうち55.6%の学生が第一志望の企業に内定しています。

平成19年度 就職内定状況(学部生)



※大学院生においては、既に92.3%内定。

DIT 駅看板

2007年7月よりデザインを一新

大学広報の一環として、駅看板による広報活動を展開中。



金山総合駅



千種駅



中部国際空港駅

*他、看板掲出駅
名鉄名古屋駅・豊橋駅・尾張一宮駅・四日市駅

環境デーなごや2007

DIT学生・教職員130人 清掃活動にボランティア参加

6月2日(土)、「環境デーなごや2007」の清掃ボランティアにDITが協力参加。今回は過去最高の学生・教職員およそ130人が集結し、大学周辺地域の美化に汗を流した。



新入生の可能性を刺激する

DIT A・Aオープン講座

■ 4月16日(2・4時限) / 4月23日(3時限)

講師 / 澤岡 昭 学長

題目 /

**現実味を帯びてきた
国際宇宙ステーションの
日本モジュールの完成**
—君達はどこまで知っている?—



「世界一受けたい授業」だ!

4月16日(月)、ゴビーホールで新入生を主な対象として開催した「A・Aオープン講座」に東海ラジオ『小島一宏モーニングあいランド』でおなじみのパーソナリティー小島一宏さんがプライベートで参加した。今回で4年連続だ。

5年前、澤岡学長が小島さん担当の番組に出演した際、宇宙の話題で意気投合、それ以来の付き合いとか。澤岡学長は昨年末、5日間連続で番組にも出演している。

今回の講座は「スペースシャトルの本当の姿は…」「国際宇宙ステーション、本当は既に完成…」「経済的な戦い、日本の宇宙予算をアメリカが…」「空中分解したコロンビア号に澤岡学長が指揮をとった宇宙実験が…」「スペースシャトルの危機管理、実は…」「77歳で飛行したJ. グレン宇宙飛行士の秘話…」「世界の宇宙飛行士との交友関係は…」等々。宇宙の「…(裏話)」をNASA提供の迫力ある写真や20年前に毛利衛宇宙飛行士、向井千秋宇宙飛行士のチューターを務めた時の懐かしい写真等をスクリーンに映して展開。参加者およそ350人を惹きつける90分となった。

最後に小島さんが「この学長講座はあのテレビ番組『世界一受けたい授業』に匹敵する。これだけの話をこんな身近に聞くことができるみんなは幸せ。こんな人なかなかいないよ!」と参加していた学生に話した。



澤岡 昭学長



小島一宏さん

■ 5月7日(3時限)

講師 / 株式会社 第一システムエンジニアリング

事業部担当取締役 松井 篤 氏

題目 /

宇宙ロケットエンジン
—ロケットエンジン設計の技術課題—



■ 5月21日(4時限)

講師 / 有限会社 アーキテクトスタイル

代表取締役 柴田 達志 氏

題目 /

チャンスのつかみ方
—今、自分を取り巻く環境が
学生時代からどういう風に育ち、
チャンスをモノに出来るか?—



『大改造!! 劇的ビフォーアフター』の匠、登場。

人気番組『大改造!! 劇的ビフォーアフター』で匠として4回出演した、建築家で本学卒業生(77A)の柴田達志さんが講師だ。

柴田さんは自身の体験談から講座を展開。最後に「本気で望むと、その情報(チャンス)は必ず集まる、それを逃さず、育てよう!」と後輩達に呼びかけた。

■ 5月28日(3時限)

講師 / エアロワークス

代表取締役 平光宗基 氏

題目 /

ロボットの伝道師
ヒューマノイド[ながら]から
ロボカップジュニアへの歩み



■ 6月4日(2時限)

講師 / ビラミッドフィルム

CMディレクター 山本和樹 氏

題目 /

CM創りの醍醐味はこれだ



特別A・Aオープン講座

■ 4月24日(4時限)

講師 / NHK 解説委員室

解説主幹 山本 浩 氏

題目 /

スポーツ界、激流の構図
—これを聞けば君のDNAが目覚ます!—

講師は、山本浩NHK解説主幹。NHK入局時はスポーツ担当アナウンサー。専門競技はサッカー・アルペンスキー。サッカーW杯においては、1986年メキシコ大会から2002年日韓大会まで担当。特にメキシコ大会伝説のマ

ラドーナ7人抜きの実況解説は有名。

講座は「スポーツ界、激流の構図」と題して、日本の競技団体で起こっている中央集権化の動きをベースにスポーツ界を検証した。



教務システム開発PJ

Web履修登録始まる

今年度よりWebによる履修登録が始まりました。

今まで学生は履修する授業の番号を用紙に記入して提出し、後日、登録された内容を確認していましたが、今年度から学内のパソコンを利用して登録するようになりました。

これにより、履修登録時にエラーの有無や単位数、登録内容の確認ができ、とても便利になりました。

教務システム開発担当者は、「学生から好評の声をいただいたので、ひと安心しました。今後は履修以外の機能も付加していき、学生へのサービス向上に努めていきたい。」とのことでした。



新任教職員紹介



稲熊幸雄 教授
工学部
電気電子工学科

今年の4月より、工学部電気電子工学科にお世話になってます。それまでは(株)豊田中央研究所に在籍し、ハイブリッド電気自動車のモータ・インバータシステムの性能アップ、小型化、低コスト化の先行研究開発に取り組んできました。

環境、安全に対する社会的要求は非常に強く、エコカーへの取り組みが積極的になされている。これらの車ではモータ駆動や電気アクチュエータがキー技術となっている。そのため、自動車において電気分野が対象とすべき領域が多くなり、電気技術への期待が非常に強くなっている。これに応えるには革新技術に繋がる芽が必要であり、原理原則に基づき論理的に技術を固め、一般性のある技術を提案する研究に取り組みたい。

大学に期待される最も重要なのが、「ものづくり」に繋がる知識と、活力のある人材の育成である。講義や卒業研究の場を通して、この実現を図るのが私の主目標です。



定国伸吾 講師
情報学部 情報学科
メディアデザイン専攻

ちょっと前までは、インターネットといえば、コンピュータが使える一部の人のものでした。しかし、今では携帯電話やゲーム機からでも接続でき、小さな子どもでも利用するほどに普及しています。今やインターネットは世界のあらゆる所に広がっている、と言っても過言ではありません。そのため、そこには多種多様なウェブサイトがあり、膨大な情報が溢れています。しかし、情報の種類が多岐にわたり、情報の量が増えれば増えるほど、情報は複雑化し、見る人に伝わりにくくなります。

そのため、情報を伝える側は、伝えたい事を明確にし、そこに適切な形を与え、適切なメディアの組み合わせを選択する必要があります。このことを情報デザインと言います。メディアデザイン専攻では、さまざまなメディアについて横断的に学びます。皆さんには、それらの知識や技術を、情報デザインの観点で応用し、これまでにない新しいウェブコンテンツを制作することにチャレンジして欲しいと思っています。

授業開発センター

大同工大の先生は、みんな、授業改善のために汗を流しています

大同工業大学では2001年4月に研究授業が始まり、同時にその運営を主な任務のひとつとする授業開発センターが設立されました。研究授業では先生方が、他の先生の授業を参観し、授業方法・内容について良かった点、改善したほうが良い点などをチェックします。結果を持ち寄り、授業研究会を行います。

研究会では授業を担当した先生も共に振り返り、よりよい授業とするための方策について議論します。公開された授業を題材に授業のあり方を研究し、知恵を出し合い、授業改善に向けて日々努力しているのです。

研究授業は大学で実施しているところはまだ少なく、6年前に本学がこの取組みをスタートした時、前走者は一大学だけでした。

2005年度に文部科学省が公募した「特色ある大学教育支援プログラム」(通称「特色GP」(good practice))に、この「研究授業の取組み」というテーマで応募し採択されました。「特色があつてとても良い教育の取組みを応援しよう」という国のプログラムです。2005年度から4年間にわたり補助金(総額約6000万円)をいただいています。

補助金は2006年度から始めた研究授業・授業研究会のビデオ撮影、学内のネットワークを利用した配信のための機材費・運営費などに使っています。このビデオ配信により、授業公開の時間以外でも、先生方は研究室のパソコンからの授業「参観」が可能になり、取組みが活性化しています。



授業研究会の様子

学生の基礎学力不足・大学の授業力ということが全国的な問題となってきた昨今、本学の研究授業・授業研究会の取組みは多くの大学から注目されています。トップランナーとして「特色GP」に採択されたこともあり、ここ1～2年たくさんの大学、教育関連協会/団体からの問合せ・来訪(7件)・講演依頼(9件)がきています。

授業を公開し研究会の材料とされること、ビデオ撮影されることは、プレッシャーのかかることでもあります。それでも専任も非常勤の先生も、授業改善のために汗を流しています。

●退職

【法人本部・大学】

〈教育職員〉(H19. 3. 31)

- 伊藤 昇一(工学部 機械工学科 教授)
- 松居 正夫(工学部 機械工学科 教授)
- 中村 肇(工学部 機械工学科 教授)
- 中井 靖男(工学部 電気電子工学科 教授)
- 渡邊 雅生(工学部 建築学科 教授)
- 樺実 珠実(情報学部 情報学科 助教)
- 大下 一政(教養部 化学教室 特任教員)

〈事務職員〉(H19. 3. 31)

柳楽 杏一(法人本部 総務部 人事室主任部員)

〈特任職員〉(H19. 3. 31)

山田 茂(法人本部 経理部長 兼 経営企画本部 副本部長)

〈事務職員〉(H19. 5. 31)

長谷川 晃(教育・学生支援部 学生室主任部員)

小林 満暁(事務部 学務室)

●採用

【法人本部・大学】

〈教育職員〉(H19. 4. 1)

- 稲熊 幸雄 工学部 電気電子工学科教授
- 定国 伸吾 情報学部 情報学科講師
(任期:H19. 4. 1~H22. 3. 30)
- 伊藤 昇一 工学部 機械工学科特任教員
(任期:H19. 4. 1~H20. 3. 31)
- 松居 正夫 工学部 機械工学科特任教員
(任期:H19. 4. 1~H20. 3. 31)
- 中村 肇 工学部 機械工学科特任教員
(任期:H19. 4. 1~H20. 3. 31)
- 瀬尾 文彰 工学部 建築学科特任教員
(任期:H19. 4. 1~H20. 3. 31)

〈特任職員〉(任期:H19. 4. 1~H20. 3. 31)

野坂 雅英 総務部 管財室長

磯川 憲二 研究支援センター副センター長

児玉 和雄 教育・学生支援部付主任部員

〈特別嘱託職員〉(任期:H19. 4. 1~H20. 3. 31)

森 健 特別嘱託職員(大学広報アドバイザー)

中井 靖男 特別嘱託職員(学習支援センターシニアアドバイザー)

鰐部 吉基 特別嘱託職員(学習支援センター)

小栗 敬之 特別嘱託職員(広報担当)

〈嘱託職員〉(任期:H19. 4. 1~H20. 3. 31)

勝島 真悟 情報学部 情報学科勤務

●異動

【大学】

〈教育職員〉(H19. 4. 1)

「助教授」は、平成19年4月1日付にて「准教授」とする

〈事務職員〉(H19. 4. 1)

志水 登(法人本部 経理室主任部員)

法人本部 経理部長 兼 経営企画本部 副本部長

長谷川 晃(大学事務部 入試室主任部員)

教育・学生支援部 学生室主任部員

●昇任

【法人本部・大学】

〈教育職員〉(H19. 4. 1)

市川 武久(工学部 機械工学科 助教授)工学部 機械工学科教授

井上 孝司(工学部 機械工学科 助教授)工学部 機械工学科教授

浅井 淳(工学部 ロボティクス学科 講師)

工学部 ロボティクス学科准教授

柳原 克行(教養部 人文社会教室 講師)

教養部 人文社会教室准教授

〈事務職員〉(H19. 4. 1)

志水 登(次長)部長

安田 英基(書記)主査

●「あいまいで適当な会」→「人的ネットワークを広げる場」



情報学部 情報学科 情報ネットワーク専攻/鳥野壽章 准教授

毎年11月23日(勤労感謝の日)に在学生・卒業生合同の研究室ハイキング「秋の宮路山」を開催しています。誰を誘ってもよい、あいまいで適当な会ですが、かれこれ15年以上続いています。

年によっては、紅葉が過ぎてしまっていたり、早過ぎたりと、毎年違う様子を見せます。また、毎年違うこと(ハプニング)が起ります。

(起きる、起こす?) 側溝に落ちてしまった車を助け出したり、下山は殆ど毎回違うルートをとって、あるときは、脇道を行ってみようと言って進んで行くと、道がなくなり、そのまま道なき道を進み、崖の上に出てしまったこともあり。御油の松並木を見に寄ったり、元気なときは隣の山「五井山」まで足を伸ばし、山を越えて本宿の駅に出てきたり、JRの三河三谷駅まで歩いたりしたこともあり。

IT時代の今日、人的ネットワークが仕事のうえでも、生活のうえでもとても重要なことだと思っています。この集まりが、違う分野、違う世代の卒業生同士が知り合い、情報交換する場となり、人的ネットワークを広げて行く場となってくれればよいと思っています。



15年前の集合写真(撮影:鳥野准教授)

DIT スケジュール



7月

22日 夏季オープンキャンパス

30日 定期試験(～8/3)

8月

6日 アメリカ短期留学(～9/2)

11日 夏季休業開始(～9/22)

21日 A O体験授業(～8/22)

27日 リーダースキャンプ(～8/29)

30日 学内企業説明会(～8/31)

9月

10日 大学院(修士)入試

11日 大学院(博士)入試

15日 A O入試(I期)

18日 履修登録期間(～9/21)

履修ガイダンス

22日 夏季休業終了

23日 秋分の日

24日 後期開講日

25日 第6回就職ガイダンス(～9/28)

29日 教育懇談会(岐阜)

30日 秋季オープンキャンパス

教育懇談会(松阪)

10月

3日 就職適性検査・エントリー試験(～10/5)

6日 教育懇談会(長浜)

7日 教育懇談会(名古屋・松本)

8日 体育の日 体育大会

9日 体育大会(一斉休講)

13日 教育懇談会(豊橋・金沢)

14日 教育懇談会(浜松)

15日 就職常識試験(～10/17)

18日 学内企業説明会

19日 第7回就職ガイダンス

(10/22・23・25・26・29)

20日 併設・クラブ(I期)・専門高校・女子特別推薦入試、編・再入学(I期)試験

25日 「DAIDO CAMPUS No.62」発行日

30日 就職自己表現テスト(～11/1)

11月

3日 文化の日 推薦入試

4日 学内レガッタ大会

新刊書出版

『電子・光材料』基礎から応用まで

本書は、ナノテクノロジーによって開発されたエレクトロニクスに関連の深い電子材料と、新しい電気材料についてを解説。大学や高専で、教科書として使用する場合の便宜を考えて全12章の構成とし、各節ごとには例題、章末には演習問題を設け、「導電材料」、「光材料」などをさまざまな角度から取り上げている。



著者: 澤岡 昭
発行所: 森北出版株式会社
発行日: 2007年4月6日
定価: 2310円(税込)

編集後記

誰にでも楽しめる場所がDITにはある、積極的に行動すれば!

とにかく遊びたい人 → 04-05「大学祭」

パソコンやラジオ等、電気製品つくって

遊びたい人 → 06「電気工房」

仲間と遊びたい人 → 10-11「課外活動」

アクセサリや表札等、最先端の工作機

械やCADでものつくって遊びたい人 → 12「創造製作センター」

元気に遊びたい人 → 12「石井記念体育館」

DITのキャンパスは、遊ぶところでいっぱいです。

みんな!「遊んで学ぶ精神」で積極的にDIT生活を楽しもうぜ!

DAIDO CAMPUS編集長 伊藤雅士(DIT生活10年目)



カラオケ大会の審査員がやりたくて...